



もりがく県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

9月県議会一般質問

「二七警察詐欺」対策が急務

木更津市選出で住み良いふるさとづくりに全力を挙げている森議員は、9月定例県議会の一般質問で質疑に立ち、治安対策や県民活動の推進について、建物の断熱化や農業の発展に向けた取組など、様々な課題を取り上げ、県執行部の考え方をたずねました。その概要をお伝えします。

森議員 県警によると、

本年7月末時点の電話で詐欺被害の認知件数は677件で、前年同期比で170件増加し、被害額は約42億5千万円と、前年同期比で約25億5千万円増加している。

認知件数等が増加した要因の一つとして、オレオレ

詐欺の一種である「二七警察詐欺」の増加が問題となっている。

「二七警察詐欺」による被害が急増していることから、これ以上の被害拡大を防ぐため、迅速な対策が求められている。

そこで伺う。県内における「二七警察詐欺」の状況

と増加の要因はどうか。

警察本部長 令和7年7月末における「二七警察詐欺」の認知件数は231件、被害額は約28億300万円、前年同期に比べ、認知件数は200件、被害額は、約23億3,300万円の大規模な増加となっております。この手口の被害者は、10

多いことから、SNSで「二七警察詐欺」の手口に関する広報動画を配信するなど、幅広い世代に対する広報啓発に取り組んでおります。

また、犯人からの電話の多くに国際電話が使われていることから、こうした電話に出ないよう、あらゆる機会を捉え、固定電話に対する国際電話着信ブロックの利用のほか、携帯電話には着信拒否設定や電話着信規制アプリの利用などと呼ばかけております。

「二七警察詐欺」の被害は、千葉県だけではなく、全国的に増加している問題で、社会的な関心が高く、不安に感じている県民も多いと思う。この詐欺による本県の被害額は約28億円にも上り、さらに被害者は10代の若者も含む幅広い年齢層に広がっているとの答弁を伺い、誰もがその標的となり得ることを考えると、改めて強い危機感を覚えたところである。県民の大切な財産を守るためにも、関係機関や団体などと協力し、若い世代を含めた全ての世代が自分事として防犯意識を高められるよう、手口の周知等の広報啓発に努め、被害を食い止めていただくよう要望する。

森議員 本県の自転車盗難件数は減少しており、検挙率は増加している。同様に、本県は自転車盗難の発生が減少しているとはいえず、全国ワースト3位であり依然として発生件数が高い水準にある状況である。

そこで伺う。自転車盗の効果的な取締りに向けて、今後、県警ではどのような

対策を講じていくのか。

警察本部長 県警としては、防犯カメラ捜査等の初動捜査を徹底し、実行犯の早期検挙に努めるとともに、突き上げ捜査により、その背後にいたると思われる指示役、更には首謀者等の上位被疑者を検挙し、犯罪組織の壊滅を目指します。

また、盗品の処分先の摘発、壊滅も重要であることから、盗難自動車の保管・解体場所、不正輸出の拠点となつて悪質な自動車ヤードを徹底的に取締り、盗品流通経路の遮断を目指す。

引き続き、千葉県に犯罪組織を入れないよう、検挙と抑止の両面から各種対策に取り組んでいただくことを強く要望する。

9月県議会で質疑を行う森議員



地域の力で未来を共に

森議員 人口減少や少

子高齢化の急速な進行に伴い、地域が抱える課題はますます複雑化・多様化し、行政による対応だけでは限界があると認識している。

こうした状況下で、ボランティア活動をはじめとする自発的な社会貢献活動の重要性はこれまで以上に高まっている。

私も地元木更津市でピー

チクリン活動などに参加しているが、地域の課題解決だけではなく、参加者が社会の役に立つ喜びや充実感を感じることができ、地域をもっと良くしたいとい

う想いにもつながっていくことを実感している。

県では、こういった活動を「県民活動」と位置づけ、「千葉県民活動推進計画」を策定し様々な取組を進めている。この「千葉県民活動推進計画」は、今年度末で計画期間が終了予定となつていくが、ボランティア活動の輪を広げ、多くの県民の皆様に参加していただけるよう取組を推進していくことが必要と考える。

そこで伺う。次期千葉県民活動推進計画の策定に向けた検討状況はどうか。

知事 地域コミュニティの機能低下が進む中、福祉や防災、子育てなどの様々な分野で、多岐に渡る地域課題が山積をしています。県では、これらの課題解決に自発的に取り組む県民や団体を支援するため、県民活動推進計画を策定し各種事業に取り組んでいるところですが、

これまで、県民活動への参加や多様な主体による連携・協働を促進してきた中で、ボランティア活動への参加意欲が世代により異なるなどの課題が明らかになることともに、連携・協働の取組を通して、地域の課題

解決に留まらず、新たな地域の魅力や資源を発見する活動も生まれています。

このため、次期計画では、各世代のライフステージに応じた参加機会を提供していくとともに、連携・協働の取組をより一層推進し、新たな価値の創出につながる取組も支援をしていきたいと考えています。

今後、有識者や市民活動団体関係者で構成する県民活動推進懇談会での御意見などを踏まえ、年度内に計画を策定し、地域のみんなの力で未来を共に創る千葉県」を目指してまいります。

●木更津市と県政についてのご意見をお寄せください

森がく 森岳

県議事務所

〒292-0805 千葉県木更津市大和2丁目6番8号103

TEL 0438-38-5050 FAX 0438-38-5051

URL www.mori-gaku.jp/ E-mail info@mori-gaku.jp/

建物の断熱化で地球温暖化対策を

森議員 本年3月、私は県内視察にて、千葉商科大学を訪問した。そこで「断熱DIYワークショップ」とは、健康で快適な室内環境の実現に加え、冷暖房などのエネルギー消費量の削減にもつながり、ひいては温室効果ガスの排出削減にも寄与する。

地球温暖化対策が喫緊の課題となる中、建物の断熱消費量を削減させる建物の断熱性能の向上は重要である。県として建物の断熱化を積極的に推進すべきと考えるがどうか。

環境生活部長 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、住宅や建築物の脱炭素化を進めるためには、空調などのエネルギー消費量を削減させる建物の断熱性能の向上は重要である。県として建物の断熱化を積極的に推進すべきと考えるがどうか。



自席から要望する森議員

農業への理解を深める取組

森議員 加工食品や外食が普及したことなどにより、農産物に直接触れる機会が減り、生産者と消費者との関係性が希薄化している。その結果、農業の生産現場の事情をよく知らない消費者も増えており、食を支える農業への理解が深まらないことを懸念している。

力や苦勞を実感し、農業の生産現場を身近に感じられる機会が必要なのではないか。

そこで伺う。消費者が農業への理解を深めるための取組を進めるべきと考えるがどうか。

知事 県では、消費者が様々な体験を通じて、農産物の生産から消費までのプロ

セスや、地元で生産される食

材、地域の食文化などを知る

ことができるよう、食育の

取組を進めているところです。

具体的には、学校におい

て地域の生産者などと連携

した出前授業や栽培活動等

の取組を推進するほか、今

年度は新たに、学生などの

若い世代を対象に、生産現

場の見学や生産者との意見

交換の場も設けることとし

ています。

また、幅広い世代を対象

に、誰もが楽しめる観光農

園や農業体験施設などの魅

力をポータルサイトで発信

するとともに、種まきから

収穫、調理までの体験活動

を提供する食育ボランティア

や食育サポーター企業を登

録し、希望者とのマッチング

を図るなど、その活動を支

援しているところであり、

引き続き、食に関わる様々

な関係者と連携しながら農

業への理解を深める取組を

進めてまいります。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること

で、農業に関する関心や理解

が深まるものと考えられる

ので、今後も、食育や農業体

験など、消費者と生産者が直

接つながら取組を積極的に進

めたいと要望する。

要望 消費者が生産者の

努力や苦勞を理解し、

また生産現場を知ること